

地歴公民 (日本史) 慶應義塾大学 法学部 1/1

問題 I

(1)(2)	06 (足利義政)	(3)(4)	52 (ディアナ)	(5)(6)	19 (榎本武揚)
(7)(8)	41 (占守)	(9)(10)	59 (ニコラエフスク)	(11)(12)	36 (先島諸島)
(13)(14)	32 (児玉源太郎)	(15)(16)	73 (矢内原忠雄)	(17)(18)	01 (L. ジョンソン)
(19)(20)	14 (仁川)	(21)(22)	76 (旅順)	(23)(24)	75 (万朝報)
(25)(26)	60 (日仏協約)	(27)(28)	40 (上海)	(29)(30)	23 (カイロ)
(31)(32)	10 (李承晩)				

設問 1	(33)(34)	49
設問 2	(35)(36)	05
設問 3	(37)(38)	55
設問 4	(39)(40)	02

問題 II

設問 1	(41)(42)	05	設問 2	(43)(44)	05
設問 3	(45)(46)	01	設問 4	(47)(48)	04
設問 5	(49)(50)	02	設問 6	(51)(52)	03
設問 7	(53)(54)	04	設問 8	(55)(56)	05
設問 9	(57)(58)	01	設問 10	(59)(60)	04
設問 11	(61)(62)	04	設問 12	(63)(64)	04
設問 13	(65)(66)	01	設問 14	(67)(68)	04
設問 15	(69)(70)	04	設問 16	(71)(72)	05
設問 17	(73)(74)	05	設問 18	(75)(76)	02
設問 19	(77)(78)	05	設問 20	(79)(80)	03

問題 III

仏教が儒教や道教よりも優位であると考えた空海は、遣唐使に随行し渡唐して密教を学び、帰国後に真言宗を開いた。真言宗は国家社会の安泰をめざし、加持祈禱などの呪法により、災いを避け幸福を追求するという現世利益の面から皇族や貴族からの支持を集め、同時期に最澄が開いた天台宗とともに隆盛した。空海は嵯峨天皇から平安京内に東寺を賜り、真言宗の根本道場とするなど、鎮護国家の役割を果たし、朝廷との結びつきを強めた。

(200 字)

問題 IV

金貨に対する銀貨の価値が高まると、上方からの商品を消費する金遣いの江戸では諸色の物価が高騰した。一方、良質な正徳・享保金銀の発行は貨幣流通量を減少させ、加えて豊作などもあり米の供給量が増大していたため、米価は下落した。これにより、幕府から支給される俸禄米を売却し生計を立てていた旗本や御家人の生活は、収入の減少や支出の増加という状況になり窮乏した。そこで品位を引き下げた元文金銀を発行し貨幣流通量を増加させることで、米価引き上げをめざした。さらに特に銀貨の品位を下げることで、金貨に対する銀貨の価値を下げ、上方から江戸に流入する諸色の物価を引き下げようとした。

(280 字)